

箴言 8 第20章「人の一步一步を」

2018/09/26 聖書研究会

1. 【箴言全体に響く中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。」

2. 「20:1 酒は不遜、強い酒は騒ぎ。酔う者が知恵を得ることはない。」

- ・過度の飲酒への警告。
- ・飲酒そのものが禁じられているわけではない。

詩編「104:15 ぶどう酒は人の心を喜ばせ、油は顔を輝かせ、パンは人の心を支える。」

3. 「20:5 思い計らいは人の心の中の深い水。英知ある人はそれをくみ出す。」

- ・計り知ることのできない人の心の深み。良いものである場合も、悪いものである場合もある。
- ・しかし神から英知を受けた人は、それを汲み取る。人の中のまだ明確になっていないよき願いを、英知ある人は汲み取り、それを明確にして実現していくように助ける。イエスはまさにそのような方。

4. 「20:9 わたしの心を潔白にした、と誰が言えようか。罪から清めた、と誰が言えようか。」

- ・罪の意識。過ちを犯す可能性が自分にあることを知っている謙虚さ。信仰的な姿勢。

5. 「20:12 聞く耳、見る目、主がこの両方を造られた。」

- ・人の耳と目を造られた神は、一切を知っておられる（聞き、また見ておられる）。
- ・また、神によって造られ与えられた耳と目を、神の願いに従うようにして用いることを神は望んでおられる。

6. 「20:22 悪に報いたい、と言ってはならない。主に望みをおけ、主があなたを救ってくださる。」

- ・自分で報復することを避け、神が正しく裁いてくださることを信頼する。
- ・ローマ「12:19 愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。」 ←申命記 32:35

7. 「20:24 人の一步一步を定めるのは主である。人は自らの道について何を理解していようか。」

- ・神が人生を導かれる。わたしの人生に責任を持ってくださる方の前にへりくだり、平和と正義を求めて生きていこう。

「16:9 人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。」

8. 「20:27 主の灯は人間の吸い込む息。腹の隅々まで探る。」

- ・この訳はわかりにくい。神の霊が人のうちに入り、人の深みを隅々まで探り知る、ということか？
- ・NTD（ドイツの有名な注解書、ヘルマー・リングレン担当）は「ヤハウエは人の魂を見張る、彼はからだのすみずみまで調べる」と訳している。

9. 「20:10 おもり石の使い分け、升の使い分け、いずれも主の憎まれること。」

「20:23 おもり石を使い分けることは主にいとわれる。天秤をもって欺くのは正しくない。」

- ・神は不正を憎まれる。不正による富は長続きしない（20:17）。

